

漁況予報 いわし

第132号

2005年 11~12 月漁期
(2005年 11月 日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網における9月のマイワシ総水揚げ量は、190トンで前年同期の25トンを大きく上回る値となりました。10月に入ると来遊水準が落ち、総水揚げ量は80トン(速報値)となりました。(前年同期31トン)

佐島地区のまき網は、9月、10月とも混じりで僅かに漁獲する程度でした。

魚体は、相変わらず0歳魚(2005年級群)中羽マイワシ(15~16cm台)主体での魚種組成となりました。

平均単価は、9月が150~200円/kg、10月が同250~400円しました。

【かたくちいわし】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総水揚げ量は400トンで、前年同期(215トン)を上回る値となりました。

しかし10月になると、成魚の来遊が切れ、未成魚主体の漁模様になったこともあり、水揚げ量は減少し、計25トン(速報値)と前年同期(321トン)を大きく下回りました。加入が失敗したと思われる2004年級群が少ない影響が出始めた感があります。

佐島地区のまき網は、断続的に餌イワシとして漁獲しましたが、非常に少ない漁獲に終始しました。

魚体は2ヶ月とも9cm未満の未成魚が主体でした。

【しらす】

8月一杯好漁だった相模湾のシラス漁ですが、9月に入ると三浦半島側から来遊水準が落ち始めました。腰越周辺では12日まで100~200kg/統/日を維持しましたが、13日以降は同50kg前後で終始しました。平塚を中心とした奥部では、16日まで連日同100kgを超えていましたが、17日以降は同100kgを下回る日が増えていきました。

10月に入っても、劇的な好転はありませんでしたが、昨年と違い、出漁すれば低水準ながらタル1~2本は漁獲できる日々が継続しました。

ただ、茨城~愛知の各海域とも、10月に入り急速に漁獲水準が落ちてきました。このことから、今後は年末にかけて緩やかに漁獲水準が落ちていきながら終漁になるのではないかと考えられます。

＝ 予報 ＝

まいわし

今漁期は、中羽イワシ(0歳魚、2005年級群)が主体になるでしょう。

今漁期の水揚げ量は、定置網を主体に約60トンと予測されます。

* 縦軸：主要定置網+まき網の水揚げ量

かたくちいわし

今漁期は、未成魚が漁獲の主体となります。

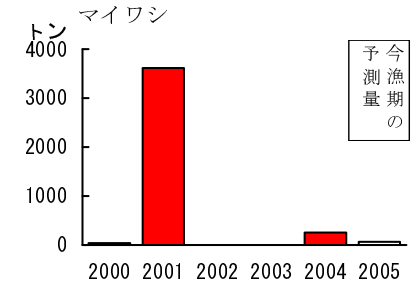
今漁期の漁獲量は、約4トンと予測されます。

しらす

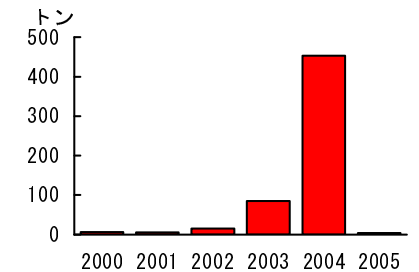
今漁期は、9~10月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となります。

今漁期の漁獲量は、約65トンと予測されます。

過去5年の11・12月漁期の漁獲量
と今漁期の予測量



カタクチイワシ



シラス

